

退任挨拶

前自治会副会長 利根川高雄

永らく姥ヶ山自治会の役員を務めてきましたが、この度退任することとなりましたので姥ヶ山自治会の推移について簡単に説明いたします。

① 姥ヶ山自治会は、昭和三十二年二月に戸数一二〇戸で発足しました。

② 昭和五八年四月新しく部長会が導入されました。役員としましては、会長・副会長・会計の三名に専門部（総務・環境・文化・補導）の部長・副部長計十一名で構成されています。更に隣組長三十一名を加えて四十二名の組織です。私は、総務部副部長を任命されました。当時は参考になるような自治会活動をしている組織も無く手探り状態での発足です。

③ ブロック制の導入

部長制導入以来、様々な変遷がありました。がブロック制の導入が一番組織として効果的と思われま

す。◎第1次ブロック制は、平成二年四月に導入され、各ブロック長は全員副会長に就任する…等々です。

◎そして、平成十四年四月より現在のブロック制となりました。

④ 自分の自治会役員としては、昭和五十八年の総務部就任以来三十三年間、なぜか再任されてきました。

⑤ 私事で恐縮ですが、昨年十二月に、急性白血病により入・退院を繰り返し、皆様には大変ご迷惑をお掛けし、ここにお詫び申し上げます。

⑥ 以上、現在までの自治会活動の概要について簡単に説明しましたが、三十三年間にわたり皆様方のご協力に心より感謝申し上げ退任のご挨拶とさせていただきます。

退任にあたり

前自治会副会長 野澤正榮

自治会副会長退任挨拶の冒頭になりますが、四月六日の朝、高熱が出て市民病院に入院十日間することになり、四月七日の山潟小学校の入学式を欠席し、更に四月十日の自治会総会についても出席出来ず、副会長としての任務を果すことが出来なかったことについて、自治会役員の皆様始め、総会出席者の皆様に大変御迷惑をかけてしまい大変申し訳なくお詫び致します。

さて、二年前副会長就任にあたり、私は、自治会の課題の一つに自治会館を当初計画案である平成二十九年を目標に建設するために、建設小委員会の一員として努力をして来ましたが、特に平成二十五年五月三十一日の姥ヶ山自治会報六十九号で皆様に明らかにした内容で建設するため検討してまいりました。

しかし、この二年間の建設小委員会の会議で資金問題が主題となつて来ましたが、当初案が決つた時には建設資金問題を含めて明らかにして来たものであります。

私自身は、最後まで当初案の二階建を主張して来ましたが、結果として現在の会館より多少大きい、平家建てと言うことで、二十八年度の総会で当初案の変更と建設時期を含めて提案されたと聞きましたが、今後どうなるのか見守っていききたいと思います。

私が何故二階建にこだわったかというと、災害時一時避難として受け入れられることが出来るものとして考えて来たからであります。

最近の災害を見る時、避難する所が不足している所を見るにつけ、資金

問題で縮小した案で本当に良いのか、疑問でならないのであります。

今回提案されたものを含めて、自治会館建設に対して皆様方の率直な意見を出して戴きたいと思つてるところであります。

最後になりましたが、この度の役員改選で副会長を退任することになりました。この間、ブロック長を含めて八年間、役員各位に支えられながら何とか勤めることが出来た事に感謝申し上げます。

本当にこの二年間、副会長の任務をまともに遂行出来なかったことをお詫び申し上げ、退任の挨拶と致します。

退任挨拶

前管理部長 坂井 等

平成二十七年年度末にて、管理部長を退任することとなりました。

これまでに、会館の修繕やトイレの改修工事をしたり、年間を通しての清掃活動などで多くの方々との協力を得て会館の維持・管理に務めてきました。

最初の頃は、ゴミ箱に飲食物の残りがあふれて異臭がすることもありました。したが、ゴミ箱を撤去し、総てのゴミの持ち帰りをお願いしてきました。

最近では、飲食後の後始末も徹底されており、いつも片付いております。

これからも地域の活動の拠点として大いに利用していただけたらと思っております。



十年を振り返り

前自治会会計 小竹 實

平成一八年四月より会計を五期十年務め退任することになりました。

私が姥ヶ山に来て約三〇年なりますがその間に大規模開発（陸上競技場、野球場、ショッピングセンター、ホームセンターなど）が行われ目覚ましく発展してきました。

姥ヶ山地域には、四月の地藏堂祭、八月の諏訪神社大祭、一月のサイの神など一年を通じて昔からの伝統行事があり、今も大勢の地域住民が参加して盛大に行われています。

自治会活動費も十年前と比べて予算規模は約五十万円増えて、一千八十万円（世帯数約一千四百戸）になりました。

収入では、自治会費（約十七万円）、補助金（約三十二万円）、新潟市の事務委託費（約十八万円）など世帯数が約七十戸増、会館使用料（約十七万円）は少なくなりました。

支出では、専門部（約二十六万円）減（自治会員の参加する行事は減らさず）、執行部（約二十九万円）増、会館整備積立金（約八十五万円）は増えています。

自治会や地域活動に参加することにより多くの方と知り合いになり私の大きな財産になりました。



ブロック長退任挨拶

前五丁目ブロック長 小林 章

五丁目ブロック長退任に当たり率直な感想をのべてさせていただきます。

一は、最初の一年間が超多忙できつかったことです。一年目は、県警察最後の一年でありました。平成二六年三月に刑事部長を拝命し、同時にブロック長となりました。直後の四月上旬、新発田警察署管内で女性の他殺遺体が発見され、特別捜査本部設置となりその最高責任者となりました。以来一年間、土日夜間もほとんど休めず、町内の業務と重なり非常に疲れる一年でした。他の役員にもご迷惑をおかけしました。二年目は、時間的に余裕ができた切れたと感じています。

二は、良いメンバーに恵まれました。副ブロック長はじめ役員の方々に恵まれ、各々仕事などがある中お互いカバーしながら楽しく仕事ができました。

三は、家内が良くサポートしてくれました。特に一年目は大変多忙でしたが、妻が良く適切な連絡役となり助けてくれました。捜査本部から帰宅する前にも夜間、自宅にテレビや新聞記者が取材に訪れましたが、その対応や自治会の連絡などしつかりやつてくれました。感謝しています。

四は、自治会活動についての認識が変わりました。正直、役員になるまでは、班長も含め自治会の仕事は煩わしい、できればやりたくないと考えていました。しかし、自治会長さんはじめ皆さんが積極的に取り組んでいることを目のあたりにして頭が下がりました。今後は、できる範囲で自治会活動にかかわっていこうと思います。

二年間、大変ありがとうございました。